

第6回 青山学院「会計サミット」の開催について

主催 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科

「経営戦略における会計への期待
—そのために求められる人材の育成とは?—

【本サミットの趣旨】

本年4月より適用となった、上場会社における四半期報告制度と内部統制報告制度は、わが国の証券市場におけるディスクロージャーの信頼性向上に向けた改革の一環ですが、こうした制度を円滑に推進するためには、それを支える経営及び会計等の専門的知識を具備した多くの人材の育成が国家的な急務と考えられます。と同時に、企業サイドにおいては、新たな制度に対応する機会をとらえて、より競争力を強化し、企業価値を高めるための経営戦略を練ることが不可欠であると思われま

す。第6回会計サミットでは、このような動向を踏まえて、企業の経営戦略における会計への期待について、企業の立場、監査の立場、および、行政の立場のそれぞれにおける意見等を伺うと共に、それを実践していくために必須の人材の育成について、さまざまな提言等をいただくことにします。

(以下敬称略)

日時： 2008年7月23日(水) 14:00より

場所： 青山学院大学 青山キャンパス ガウチャー・メモリアル・ホール

進行プログラム

- 司会 橋本 尚 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授
- 開会のご挨拶 伊藤定良 青山学院大学長 (開会 14:00)

第一部 特別講演 (14:05—14:50)

「決算書の暗号を解く!—会計知識は、ビジネスパーソンの必須要件—

○勝間 和代(公認会計士)

—休憩 (14:50~15:10)—

第二部 パネル討論会 (15:10-17:30)

「経営戦略における会計への期待—そのために求められる人材とは?」

パネリスト (順不同)

- 羽藤秀雄(経済産業省・大臣官房審議官 兼 通商交渉官)
 - 関 哲夫(新日本製鐵株式会社 常任監査役、日本監査役協会会長)
 - 木村 剛(株式会社フィナンシャル代表取締役社長)
 - 増田宏一(日本公認会計士協会会長)
- コーディネーター
- 八田進二(青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授)

【参加手続について】（参加費は無料です）

参加を希望される方は、ウェブサイト上で事前登録を行ってください。

青山学院大学ホームページ (<http://www.aoyama.ac.jp/>) に掲載の「第6回青山学院会計サミット」のサイト (<http://www.aoyama.ac.jp/event/080723a.html>) から登録してください。

【日本公認会計士協会のCPE研修認定のご案内】

本「会計サミット」につきましては、日本公認会計士協会のCPE研修の認定を受けており、参加者される公認会計士の皆様には、**3単位**が与えられます。

※ ウェブサイトをご覧になれない方は、葉書に「第6回会計サミット参加希望」と明記の上、お名前・ご所属またはご職業・ご連絡先をご記入いただき、下記のあて先へお送りください。

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学専門職大学院事務室 会計サミット担当

連絡先 青山学院大学専門職大学院事務室・会計サミット担当

TEL 03-3409-8025（ダイヤルイン）

FAX 03-5466-0687